



聖書は
出会いの書
いちごいちえ
一期一会の書
せんざいいちごう
千載一遇の書

ヨハネによる福音書 5章 9b～18節

「闇の中、恵みと導きの光が・・・」

あなたは良くなったのだ。もう、罪を犯してはいけない。(14)

わたしの父は今もなお働いておられる。だから、わたしも働くのだ。(17)



ムリーリョ「ベテスダの池で体の麻痺した人を癒やすキリスト」(1667～1670年)

ベトザタの池の病人 (ヨハネ 5:1～18)

その日は安息日^{あんそくび}であった。(9b)

⇔ シロアムの池の盲人 (ヨハネ 9:1～41)

⇔ 安息日のことであった。(14)

ユダヤの当局者 (10)

今日は安息日だ。だから床を担ぐことは、律法で許されていない。

池の男 (11)

わたしをいやしてくださった方が、
「床を担いで歩きなさい」と言われたのです。

ユダヤの当局者 (12)

お前に「床を担いで歩きなさい」と言ったのはだれだ。

池の男 (13)

病気をいやしていただいた人は、それがだれであるか知らなかった。

↓

イエス (14)

その後、イエスは、神殿の境内でこの人に出会って・・・

池の男 (15)

自分をいやしたのはイエスだと、ユダヤ人たちに知らせた。



イエスが、安息日にこのようなことをしておられたからである。(16)

天地万物は完成された。第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なさった。この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なさったので、第七の日を神は祝福し、聖別された。(創世記 2:1~3)

この池の病人は、体だけでなく、心も深く病んでいました。
もし、この世に神の恵みが存在しないとしたら・・・。
男がこの後どうなったか、私には分かりません。
・・・事はこの池の男だけの問題ではありません。
もし、この世に神の恵みが存在しないとしたら・・・。
私たちは一人残らず、神の恵みがあって初めて、
ここでこうして礼拝することを許されているのです。

—アメリカにおける、20世紀前半の説教より

(イエスは) 御自身を神と等しい者とされた。(18)